入学年度・開講所属	2024(R6)・工学部	科目ナンバリング			
科目名(英訳)	ベンチャー企業論(Theory of Venture Business)　(MNG-29120J1)				
担当教員	未定				
科目区分		対象学年	学部3年次	単位数	2単位
講義形式	講義	受講人数	20名	開講時期	前期
キーワード	ベンチャー(起業家)、経営戦略、ビジネスモデル、IT・IoTデジタル化				
授業の概要・達成目標	＜授業の概要＞ 社会に新しい価値や活力をもたらすベンチャービジネスについて、イノベーション、マーケティング、マネジメント、人財戦略、起業家精神等の視点から学び、その概略の基本を理解する。また、日本の企業グループの誕生から、昨今のIT・IoTのベンチャー企業の誕生の事例解説や、ゲストスピーカーの登壇により、起業家精神や実際にどのようにビジネスを起業するのかを学ぶ。 ＜到達目標＞ ベンチャービジネスに関する基本項目を十分に理解し、自らの関心のある事例において基本理論を使いこなしてビジネスプランの策定を行うことができることを目標とする。				
授業内容	第1回.　ベンチャービジネスの概念と起業家とは 第2回.　イノベーションの意義とベンチャービジネスの目的 第3回.　起業家の精神・企業グループ誕生のプロセス(1)(日本の財閥の誕生) 第4回.　起業家の精神・企業グループ誕生のプロセス(2)(日本の電機産業の誕生) 第5回.　起業家の精神・企業グループ誕生のプロセス(3)(日本の自動車産業の誕生) 第6回.　起業ビジネスのポイント(1)(ビジョンと戦略) 第7回.　起業ビジネスのポイント(2)(市場創造「開発、商品化、ブランディング」の方法) 第8回.　起業ビジネスのポイント(3)(市場開拓「マーケティング」の方法) 第9回.　起業ビジネスのポイント(4)(組織戦略「経営・人事・財務」の方法) 第10回. IT・IoTベンチャー企業の成功要因 第11回.【ゲストスピーカー(1)】ベンチャー企業の成功要因 第12回.【ゲストスピーカー(2)】IT・IoTベンチャー企業の成功要因 第13回. ビジネスプランの策定方法 第14回.【演習(1)】ビジネスプランを作成(グループワーク) 第15回.【演習(2)】ビジネスプランの発表　全体のまとめ				
授業形式・形態及び授業方法	講師オリジナルの講義資料を使用し講義形式で行う。毎回授業の最後に簡単なレポートを提出してもらう。				
教材・教科書	講師オリジナルの講義資料を毎回配布する。				
参考文献	講義でその都度紹介する。				
成績評価方法及び評価基準	7割以上出席した学生にのみ成績判定を行う。平常点(授業への参加度・発言・授業レポート)40点と期末試験60点の合計100点で60点以上を合格とする。				
必要な授業外学修	必要に応じて授業で解説したフレームワークに基づき個人学習を行ってもらう。				
履修上の注意	ー				
関連科目(発展科目)	経営マネジメント学、マーケティング論、技術経営論、技術イノベーション論			実務家教員担当	ー
その他 学習・教育目標	地域マネジメント工学コース　2(M)-A、2(M)-C				
その他 連絡先・ｵﾌｨｽｱﾜｰ	連絡先:内島典子　E-mail:ucchi_f@mail.kitami-it.ac.jp,　Tel:0157-26-9405 オフィスアワー:随時(在室時は随時。事前に連絡することが望ましい。)				
その他 コメント					